

三中校報



令和6年度 第8号
大島町立第三中学校
校長 松島 睦磨
令和6年12月24日発行
電話 04992(4)0183
FAX 04992(4)1964
E-mail : 06T000@izu-oshima.ed.jp

サンタクロースは実在する

校長 松島睦磨

60歳をこえた私は表題の通り、サンタクロースは実在している。加えてすでに30歳をこえているかつての教え子たちもそう思っている（と思う）。

しかし、そんな私も挫折したことがある。小学4年生のころである。小さいころの私はもちろんサンタさんはトナカイにひかれたソリで私を含めて世界中の子どもたちにプレゼントを配ってくれる、と信じていた。小学4年のクリスマスイブの夜、明日の朝に枕元に発見するはずのプレゼントをわくわくしながら眠りについた。翌朝目覚めてあたりを探したが何も無い。私は「おおしまはとおいから、あしたになったんだな。」と勝手に納得した。



翌朝も何も置いてなかった。私はあきらめず「しまはくるのがたいへんだから、あしたさしきじしようがっこうにみんなあつめられてくばるんだ。」という現状判断をしてその日を過ごした。翌朝もプレゼントはなかった。さすがにこの年はあきらめたが、翌年への期待と確認はゆらぐものではなかった。

小学校5年のイブも1年前と同じ気持ちで寝て、起きて、寝て、起きた。状況の変化はまったくなかった。さすがに私はサンタさんの存在に関して疑義をいだいた。そもそも私の実家には煙突がないことにも気が付いた。

あれから数十年後、私の疑義は変化し、三中生に次のような話を数回している。

サンタクロースは存在するか。セントニコラウスさんは実在の人物で、この方の人を愛する姿勢がサンタクロースのモデルになったとすると、実在の人物だけにサンタクロースは残念ながらも存在しない。昔、差木地小学校の4年生だった男の子が夢見た、トナカイにひかれたソリで世界中の子どもたちにプレゼントを配ってくれるサンタさんは残念ながらも現実には存在しないだろう。でもサンタさんとは、自分に親切にしてくれる人、自分を大切にしてくれる人、自分を愛してくれる人、つまり、セントニコラウスさんの心の象徴だとすると、自分の周りには「本当の」サンタさんがたくさん存在するではないか。結論。「サンタさんは存在する。」「サンタさんを見ることができる自らの心のありようが大切。」「自分も誰かのサンタさんになれる。」

私は「ほら、みんなの周りにもこんなにたくさんのサンタさんがいる。」と文化祭を見てくれた方々からの三中生に対するたくさんの励ましのメッセージが書かれたアンケートの厚い「束」を見せた。

今、世界を見渡すと、互いに憎しみ合い、傷つけ合い、殺戮さえしあっている国や地域がある。サンタクロースになれるのになろうとしない人がいることも事実ではある。

年末年始では三中生がたくさんのサンタさんを見出し、たくさんサンタさんになってほしいと思う。令和7年が皆様にとって、そして、三中生にとってやさしさにあふれる素敵な1年になってくれることを深く祈ります。



それにしても今思うと、サンタさんのプレゼントを楽しみにしていることを興奮して何度も話しながら寝た私に、何も贈ることができなかった二人のサンタさんに申し訳なく思う次第である。

文化祭

1年生

『教育改革最終試案』

1年にとっては久しぶりの演劇だったようで、暗中模索の2週間でした。とにかく楽しめる劇にしたいと選んだ台本でしたが、台本を読むことに必死になる1週間目、観客を意識した演技とは何かを考え始めた2週間目、時間の足りない中、小道具や舞台の演出までとにかくできることをやりきりました。いざ本番、生徒からは「幕が開いた瞬間は緊張した」「あっという間に終わってしまったけど楽しかった」等前向きな意見も多く、中には上級生の劇に感銘を受けた生徒もいたようで、終学活では来年の話で盛り上がりました。衣装や小道具等、ご家庭で用意して頂いたものがたくさんありました。いつもお世話になっており、ありがとうございます。また来年も楽しめる劇を8人で考えていきます。今後ともよろしく願いいたします。



2年生

『Select the best times』

今年のテーマは「時代を超えた幸せの形」。登場人物は幅広い年代の人々や人型のAI（人工知能）で、演じるのが難しい役もあったかと思いますが、表現が大好きな2年生は、台本からそれぞれのキャラクターについてよく考え、楽しんで練習に励んでいました。去年は欠席者が多く、文化祭の舞台上で劇を発表するのは今年が初めてでしたが、今年は13人全員そろって本番を迎えることができ、それが何よりも嬉しいことでした。緊張の中でも見事に演じ切り、「見ている方の心を動かす演技をする」ことを目標にがんばった成果が出てよかったです。一人一人が輝く舞台を、多くの方に見ていただけたことに感謝しています。文化祭への取り組みで成長した姿を、これからも多くの場面で見せることができればと思います。来年は3年間の集大成。素敵な物語になるとと思います。楽しみにしてください。





3年生

『サヨナラの向こう側』

この9人で演じることができる最後の劇。今年は「家族の愛・命の尊さ」をテーマに劇をつくっていきました。練習が始まる頃は、臓器移植をめぐる家族の葛藤を演じる中で、どれだけ役になりきって、感情をこめて演じられるか不安や悩みがたくさん聞こえてきました。しかし、何度も練習をくり返していく中で、演じ方や感情表現を相談するなど、さすが三年生と思わせる場面がたくさんあり、少しずつ自信をもって演じられるようになってきました。本番では、今までで一番自信をもった演技ができており、大きな声で堂々と演技をする姿を見ることができました。難しいテーマに挑戦した3年生でしたが、演技を通じて、考えを深めることができ、一人一人がたくさん成長することができました。ご観覧してくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



音楽部

今年度の発表では、アンコールも含め計3曲を披露させていただきました。部員2名と顧問2名という少ない人数でも、聴いている方に喜んでもらえるよう、練習に励みました。3曲中、2曲が新曲ということで、部活動の時間が少ない中で仕上げるのは大変でしたが、部員二人でパートを分け合って、協力して演奏することができたと思います。本番では、会場の皆さんが手拍子や温かい拍手で盛り上げてくださったことで、素敵な時間にすることができました。ありがとうございました。音楽を演奏する楽しさ、表現することの素晴らしさを皆様にお伝えすることができたのではないかと思います。これからも音楽部全員で練習に励み、成長できるよう頑張りますので、温かく見守ってくださいませようお願い申し上げます。



全校演奏

今回の文化祭では合唱「輝くために」と合奏「百花繚乱」の2曲を披露いたしました。合奏は初めての挑戦で、実は文化祭の1週間前まで仕上げられるか不安な状況でした。しかし、練習を続けるうちにバラバラだった音がだんだんと重なり始め、ついに美しいハーモニーを奏でられた時の生徒たちの達成感に満ちた表情は忘れられません。文化祭アンケートでは「箏の音色がきれいだった」「和楽器をたくさん使っていてよかった」というご感想をいただきました。来年はさらにレベルアップした合奏を披露できるよう、生徒たちとともに励んでまいります。

合唱は、生徒たちの投票によって選ばれた曲です。選曲にあたり、多くの生徒が「前向きな歌詞が三中にピッタリだと思った」「三中の男子の歌声で歌ったらすごくかっこいいと思う」とコメントしていました。練習を始めてからも、この曲を歌っているときの生徒の表情は生き生きとして、歌うのが楽しい！という気持ちが全身から伝わってくるようでした。この曲には、「はるかな時の中この星は生まれた そして今僕たちは出会えた」という歌詞があります。幾億年の歴史の中、この時代、そしてこの大島で奇跡ともいえる確率で出会った生徒たち。喜びも悲しみもすべてをわかちあってきた三中生だからこそ出せる、味わい深い合唱になったのではないのでしょうか。

全校演奏をご観覧いただいた保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。



三中 HP <http://www.town.oshima.tokyo.jp/site/oshimadaisan/>

ホームページにカラー版を載せてあります。ぜひご覧ください。

小中連合音楽会



発表したのは文化祭でも披露した合唱「輝くために」と合奏「百花繚乱」です。当日の朝、つつじ小学校との合同音楽集会で小学5・6年生の演奏を聴いた後、つつじ小学校の皆さんと中学3年生の皆さんに向けて発表しました。緊張も見られましたが、見知った顔ぶりに落ち着いて発表ができていました。

午後になり、3年生に見送られて開発総合センターへと向かった生徒たちは、会場に一番乗りをしてリラックスした様子でした。そしてこれまで頑張ってきた成果を遺憾なく発揮し、緊張のトップバッターを立派に努めてくれました。合奏では、3年生が抜けた穴をカバーするため文化祭バージョンから変更した部分がありましたが、生徒たちは柔軟に対応し、より良い演奏にすることができました。合唱も合奏も、今までで1番息の合った演奏だったと思います。演奏を終えた生徒たちはその後も真剣に一中、二中の皆さんの演奏を鑑賞していました。曲が終わるごとに、おさえきれない！という様子で他校の演奏の良さを語り合う姿が見られ、そんな姿を見ると、音楽を通して心を通わせる喜びを感じずにはられません。これからの1・2年生のさらなる成長が楽しみです。

花いっぱい運動

三中の恒例行事となっている「花いっぱい運動」が12月6日（金）に開催されました。生活委員の生徒が苗の植え方を説明し、全校生徒で協力しながらパンジーとヴィオラの苗を鉢に移し替えました。200個あった鉢も生徒同士の協力によって、30分ほどで作業が終わりました。また今回植えた花は卒業式や入学式で飾る花であり、生活委員が中心となって生徒自ら育てていきます。花の日々の成長は微々たるものですが、卒業式の頃には大きな変化を感じるものになります。花の成長を見ながら生徒自身も自分の成長に気付けるように引き続き指導を行っていきます。



各種コンクール等の主な入賞者

- 【税の作文】 ≪芝納税貯蓄組合連合会 会長賞≫ 木村 厚太（3年）
【税の標語】 ≪芝間税会 入選≫ 幡野 統哉（3年）
- 【薬物乱用防止標語】
・島しょ地区選考入賞作品
 - ≪最優秀賞≫ 細貝 泰誠（2年） いちどだけ かるいきもちを もたないで しないさせない 薬物乱用
 - ≪佳作≫ 飯田 夢葉（3年） 一度だけ 自分の人生 壊すだけ 明るい未来は 自分で守る
 - ≪佳作≫ 船木 万里帆（3年） 自分には 関係ないと思わずに みんなで守ろう みんなの人生
 - ≪佳作≫ 秋田 直生（2年） いらないね だって僕には 勇気がある
 - ≪佳作≫ 木村 翔愛（3年） だいじょうぶ？ あなたは正しく使えてる？ 正しく使って 防ぐ薬物乱用
 - ≪佳作≫ 重末 美智佳（2年） 思い出して 薬物乱用 しないと決めた あのときを

1月行事予定

第三中学校は自力登下校を推奨しています

日	曜	行 事
1	水	元日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	冬季休業日(終)
8	水	始業式
9	木	
10	金	避難訓練 SC
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	町教研(全学年5校時なし)
16	木	SC
17	金	学校公開 道徳授業地区公開講座
18	土	学校公開 百人一首大会 校内マラソン大会
19	日	
20	月	振替休業日
21	火	連合作品展見学日
22	水	
23	木	職場訪問(1年)
24	金	全校英検 SC ALT
25	土	
26	日	都立推薦入試
27	月	生徒朝礼 脊柱側わん検診 都立推薦入試 ALT
28	火	職場体験(2年) 心理士
29	水	職場体験(2年)
30	木	職場体験(2年) 学校保健委員会 SC
31	金	漢字検定 都立推薦入試合格発表

大島町連合作品展 1/17(金)～21(火)

会場：開発総合センター

生徒たちが美術・技術・家庭科・国語の授業で制作した作品を、ぜひご覧ください。

なお、会場は去年のつばき小学校の体育館から、例年の開発総合センターに戻りました。お間違えのないようにお越しください。

1/18(土) 学校公開

「百人一首大会」8:30～9:55

会場：体育館

「校内マラソン大会」(雨天時：1/21(火))

男子：スタート 10:40

三中校庭～筆島往復(約6.4km)

女子：スタート 10:45

三中校庭～町野球場往復(約3.3km)

学校公開中でもありますので、是非ご来校いただき生徒を応援していただければと思います。

1年生職場訪問 1/23(木)

2年生職場体験 1/28(火)～1/30(木)

キャリア教育の一環として、進路学習で身につけた力を見学や体験を通して深め、自分の適性をさぐるとともに、働くことの意義、勤労の大切さや厳しさ、喜びや達成感を知り、今後の進路選択につなげていきます。

事業所の皆さまにはお世話になります。

<2月の予定>

7日(金) 新入生保護者説明会

11日(火) 建国記念の日

12日(水) 大島町研究推進校発表会(5校時なし)

19日(水) テスト週間(始)

21日(金) 都立一般入試・学力検査

24日(金) 天皇誕生日 振替休日

26日(水)～28日(金) 学年末考査